

2022年2月27日

【緊急声明】 ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議します

国際婦人年連絡会

世話人 大倉多美子 橋本紀子 前田佳子

ロシア軍は2月24日ウクライナに本格軍事侵攻し、25日には首都キエフに入り、26日の時点でウクライナ人190人以上の命を奪っています。プーチン大統領は、自らが承認したウクライナ東部の親ロシア派による独立国からの要請で平和維持軍を派遣しているとしてロシア軍の軍事行動を正当化しました。さらに「ソ連崩壊で多くのものを失ったが、現代のロシアは世界で最も強力な核保有国の一つ」というだけでなく、「最新兵器でも優位性がある」と強調し、「我が国を攻撃すれば、壊滅し、悲惨な結果になることは疑いない」と主張して全世界に脅しをかけています。

2021年1月22日に発効した「核兵器禁止条約」は核軍縮の新たな一章であり、世界が核兵器の全面廃絶に向けて進んでいくことが期待されている中で、ロシアの核保有を理由に脅しをかける発言と軍事侵攻は許されるものではありません。

国際婦人年連絡会は唯一の戦争被爆国である日本で「平等・開発・平和」の実現のために活動する立場から、ロシアの行動を強く非難するとともに、一刻も早くウクライナから撤退するよう強く求めます。